生産性向上支援訓練オープンコースのご案内

（コース番号:23-16-12-121-027）

DXコース 新しいビジネスの機会を！

ビジネスとSDGs(持続可能な開発目標)の融合

――SDGｓの概要、取組み、必要性を理解し、自社のビジネスの成長につなげる知識を習得する――

開講日／令和５年 11 月 8 日(水)

時間／9:30～16:30

（昼食休憩1時間程度を含む）

会場／富山市職業訓練センター

（富山市向新庄町１丁目 14-40）※無料駐車場あり

定員／15 名(最少催行人数6名)

※先着順。定員になり次第締め切らせていただきます。

申込締切日／10 月 25 日(水)

※申込締切日を過ぎての受講希望についてはご相談ください。

受講料 3,300 円（税込）

課題・目標

・SDGsの概要を知りたい
・SDGsがどのようにビジネス成長のチャンスとなるのか知りたい
・SDGsの取り組み方法を知りたい
・SDGsを意識したバリューチェーンの強化、見直しをしたい

課題解決・目標達成

・SDGsに取組み、社会が抱える様々な課題を知る
・企業によるビジネスとSDGsや社会課題解決の関係を理解する
・SDGsと Society 5.0、DXとの関連性を知り、ビジネスにおいて新たな市場の開拓、ビジネスモデルの変革に繋がることを理解する
・バリューチェーンを理解する
・SDGsの取組事例を知る

コース概要

【推奨対象者】 ☆ 中堅層・管理者層
【 受講内容 】 ① ＳＤＧｓの概要
② ＳＤＧｓの取組
③ 開発目標の戦略
◆その他演習◆

生産性センターHP

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構　富山支部
ポリテクセンター富山　生産性向上人材育成支援センター
☎:0766-28-6903　✉:toyama-seisan@jeed.go.jp

コース名	ビジネスとSDGs（持続可能な開発目標）の融合		
コース番号	23－16－12－121-027	受講料	3,300円（税込）
日　程	令和5年11月8日（水）	時　間	9：30～16：30
概　要	世界中の企業がSDGsを経営の中に取り込もうと力を注いでおり、SDGsを経営に組み込むべく様々な取組が進められている中でSDGsの必要性を理解し、自社のビジネスの成長につなげる知識を習得する。		
推奨対象者	中堅層、管理者層		
実施機関	株式会社 東京ナレッジプラン		
開催場所	富山市職業訓練センター　3階　研修室G 〒930-0916　富山市向新庄町１丁目14番40号　　TEL　076-451-7500		

カリキュラム内容		時間
■SDGsの概要	(1)SDGsとは ・全世界で認識されている社会問題の解決を掲げたSDGs（持続可能な開発目標）とは何か、そしてビジネスにどう影響するか、あるいは企業存続・発展においてどんな効果があるかを説明する。 (2)SDGコンパスとは ・SDGsコンパスが規定している手順「SDGsを理解する」→「優先課題を決定する」→「目標を設定する」→「経営へ統合する」→「報告とコミュニケーションを行う」を説明する。 (3)SDGs経営ガイドとは ・SDGsの精神は、日本古来からの「会社が世のため人のために存在するという考え方」や近江商人の「三方よし」、渋沢栄一の道徳経済合一説に合致している。その関係性も含めて、説明する。 (4)SDGsとSociety 5.0 、DXの関連性 ・最近は、サイバー空間とフィジカル空間を融合させたシステムであるSociety 5.0やモノや社会の動きをデータ化するDXが高度化している中で、それをSDGsの実現策として適用する方法を説明する。 【ミニ演習】目標1～17のうち関心のある目標の設定（「個人として」でも「会社として」でも構いません）	1h
■SDGsの取組	(1) SDGsを意識したバリューチェーン構築の2つの方向性の考え方 ・SDGsへの貢献のための以下の2つの方向性を説明する。 ①自社のビジネスプロセスでSDGs準拠の方向 ②SDGsに貢献できる商品・サービス提供の方向 (2)SDGsの取組事例の紹介 ・SDGsに取組む意義を踏まえながら、取組み事例のポイントや構築した仕組やプロセス、体制を説明する。と同時に、各企業が自らSDGsに取組むためのヒントも説明する。 (3)SDGsに取組むことのメリット ・企業イメージの向上、社会課題への対応企業の生存戦略、新たな市場の開拓等 ・SDGsの取組を実現する時に、企業の存続や商品開発、市場開拓などを盛り込んで企図することが必要で、その方法を説明する。 (4)演習① ・提示した複数のSDGsの取組事例から自社に適用できそうな事例を選択して（もし適用できる事例がなければ、自分で取組を設定して）、「自社への適用を踏まえたSDGsの取組事例のポイント整理」	2.5h
■開発目標の戦略	(1)SDGコンパスを活用した企業取組 ・企業にとって、SDGsを経営戦略と整合させて、社会問題の解決に貢献することは存在意義に繋がる。SDGsの取組事例を用いながら、その貢献を測定し、管理する指針の作成ポイントを説明する。 (2)演習② ・SDGsを意識したバリューチェーン構築の2つの方向性の考え方を踏まえて、「ケース・スタディで2つの方向性からSDGsバリューチェーン構想」（グループディスカッション） (3)発表＆講評 ・演習①～②のアウトプットを講評者・参加者の前で発表する。→講評	2.5h
	合計	6h

※上記内容は、諸般の事情で多少の追加や変更等がありますことを申し添えます。